

H28.6.10 経済港湾委員会から付託替え

陳情第131号	受理年月日	平成27年12月9日
付託委員会	総務財政委員会	
陳情者	門司区上藤松二丁目11-1 軸丸 智裕	
件名	北九州市立大学へのICTによる通信制教育の導入について	
要旨	<p>北九州市民の学習熱は冷めていないと考えるが、北九州市立大学の夜間学部の廃止など、学習の機会は徐々に少なくなっているのではないかと考える。</p> <p>また、ひきこもりの若者など、家から一歩も出ることができない人間が社会問題となっており、これらの若者が社会に出るきっかけとなる仕組みが必要である。</p> <p>日本大学など民間の大学では、通信制教育を実施しているところはあるが、単位取得のため通学を必要とするスクーリングがあるため、東京までわざわざ出かけるなければならない。その点、市内に大学があれば、負担が軽減できる上、参考図書も利用可能となり、学習熱も高まるものとする。</p> <p>現在、ICT教育の充実が叫ばれている。そのためには、試験的にでも通信制教育を他市に先んじて導入することが必要である。その研究成果は、小・中学校、高校の青少年にも反映できるはずである。</p> <p>通信制教育は、通学制教育と比較し、一般的に学費が安くなるというメリットもある。また、アバター（自分の分身として動かすインターネット上の人形）による学園生活など、ユニークな取り組みで学習熱を上げることも期待できる。</p> <p>なお、通信制教育の学費や募集対象には、全く制約を加える必要はないと考えるが、学費については、通学制に比べ安く抑えるべきである。</p> <p>ついては、生涯教育の一環として、北九州市立大学に、市民が郵便やインターネットで学習し、大学の単位を取得することができる通信制教育の導入推進を決議していただきたい。</p>	